

全測連中国地区協議会

大規模災害で相互応援協定締結

昨年7月豪雨を教訓に

中国5県測協スクラム

(無料メールで13日配
信済み記事) 全国測量設
計業協会連合会中国地区
協議会(大野木昭夫会
長)は9日、



相互応援に関する協定を岡山市内のホテル
で取り交わした

大規模な自然災害が発生した際に迅速な対応を図るため、中国5県の各測量設計業協会が手を取り合い連携するための「相互応援に関する協定」を岡山市内のホテルで取り交わした。写真。全測連では九州地区協議会に次いで2つ目。

平成30年7月豪雨によって多大な被害が発生した広島県では、一部の地域で被災状況の確認や災害復旧のための測量設計業務が迅速に行えないなどの問題が露見した。そのため、今後は中国地区内で発生した災害に対して県内の測量業者だけでは対応できない場合、中国各県の測量設計業協会が支援を行える体制を整えることになった。

大野木昭夫会長は冒頭のあいさつで、「昨年の7月豪雨によって広島県、岡山県を中心に大きな被害を受け、中国地区協議会の役割が問われる契機にもなった。今回の協定締結により、改めて中国各5県の足並みをそろえて災害対応を徹底していきたい」と決意を述べた。

今後、同中国地区協議会は、各県行政との協力体制を強化すると共に、各県測量設計業協会からの意見や要望を取り入れることにより、協定内容を一層充実させていく方針だ。